

平成 22 年 1 月 4 日 発行

国指定重要文化財

浮田家便り

第 1 号



平成 21 年 12 月 21 日 撮影

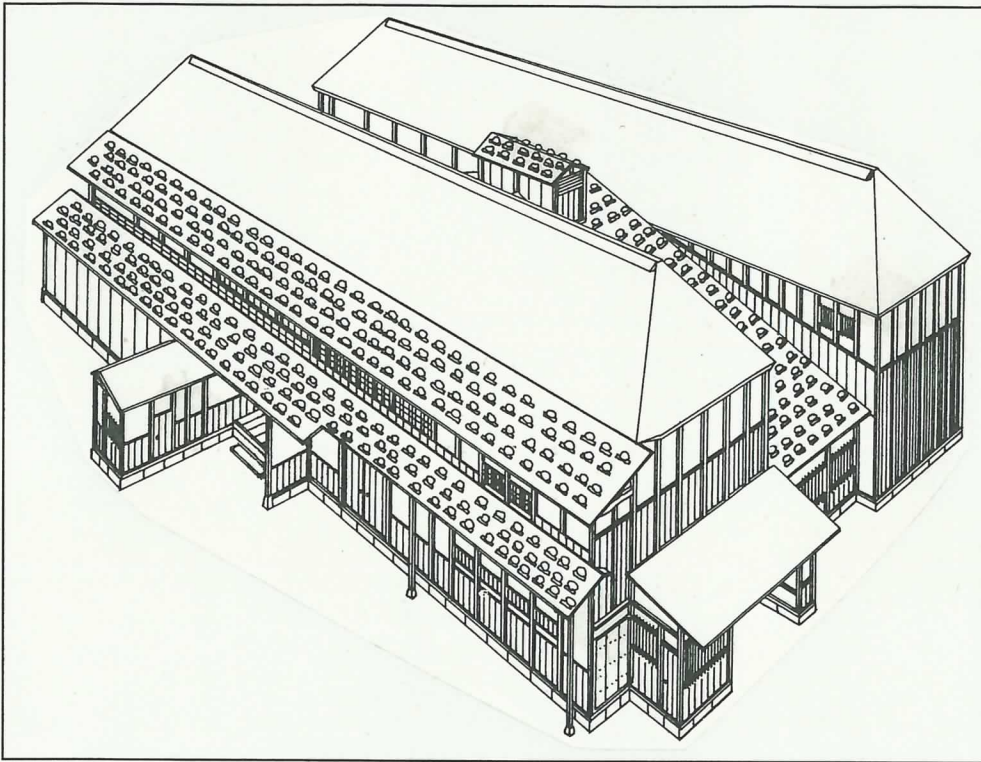
冬の浮田家

浮田家は、江戸時代に加賀藩の奥山廻役を務めた役宅で、主屋の建築年代は文政 11(1828)年の上棟(じょうとう)と知られています。昭和 54(1979)年 5 月に、県内でも規模が大きく豪壮であることから国の重要文化財に指定されました。

毎年 12 月、浮田家では主屋の前に雪から建物を守るために雪囲いを行います。また、入口には三角屋根(雪割り合掌)が設置され、冬の出入りがスムーズになります。今年は数年ぶりに浮田家の雪景色が見られました。

富山市教育委員会・生涯学習課

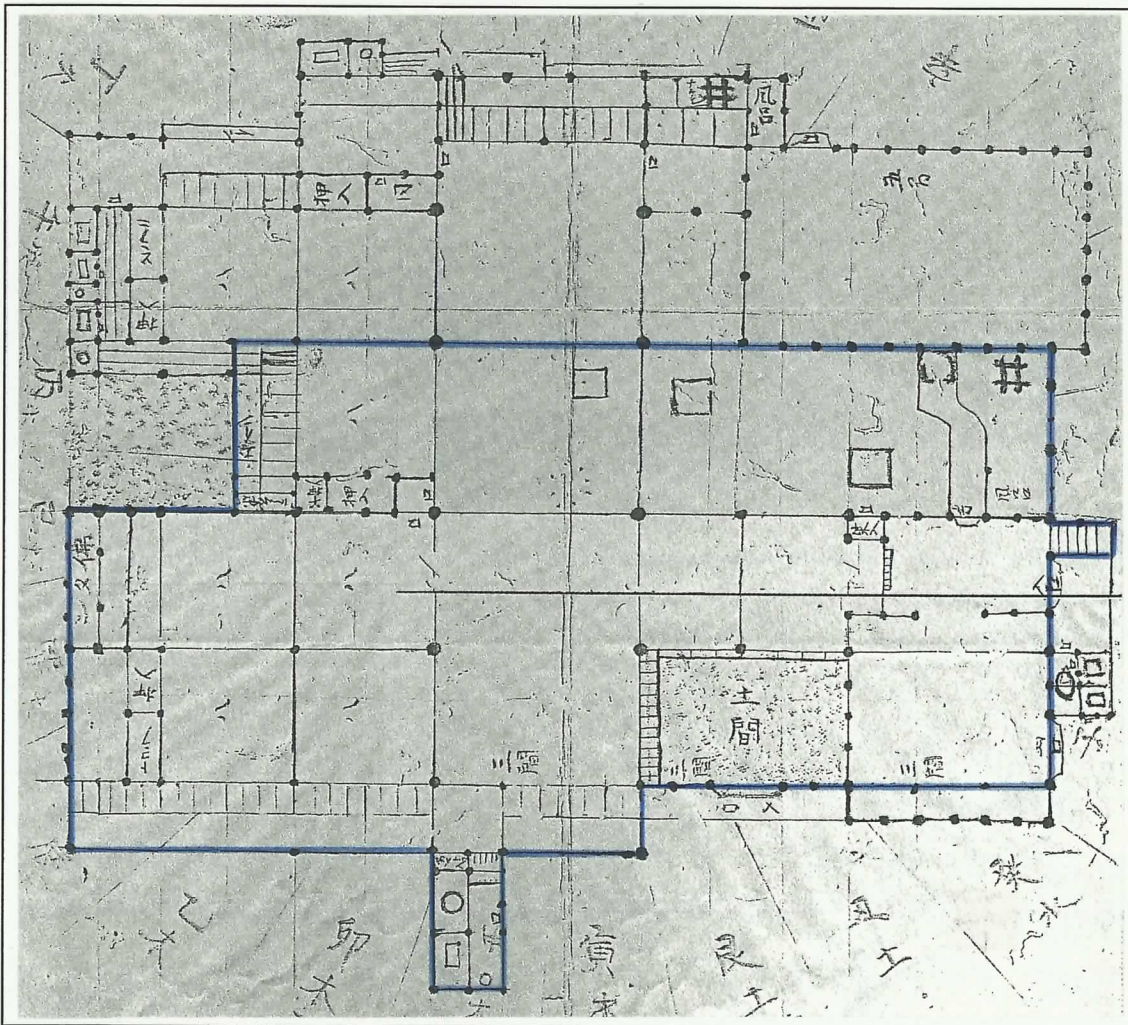
浮田家豆知識(その1)



文政年間に建築された当初は、現在の主屋の後に居室部がありました。

しかし、その部分は、家人などの伝えによると昭和16年に撤去されました。

建築当初の主屋復元図



建築当初の主屋の間取りを書いた図面(年代不詳・江戸時代末頃とされる)

・太線で囲った部分が現存すると考えられる。

※図はすべて、富山市教育委員会 1983『重要文化財 浮田家住宅保存修理工事報告書』から引用した。

編集・発行 富山市教育委員会 生涯学習課 〒930-8510 富山市新桜町 7-38 TEL076-443-2138